

# 「リウマチ性多発筋痛症手記」 安武 修二 63 歳

2014 年 6 月 17 日

## リウマチ性多発筋痛症との戦い

平成 25 年の夏、この年の暑さは 35 度を超える日が続き私の身体には大変辛かったです。8 月 10 日頃から疲労を感じ始めました。仕事を終えて飲むお酒も美味しく感じませんでした。お盆の頃から右肩の痛みを感じ始め少々動かすのが辛かったです。8 月 19 日朝、起きるのが辛かったが、動き出すと動けない状態ではなく、仕事には差し支えありませんでした。8 月 20 日朝、体が固まった状態で布団から立ち上がれず、整体の先生を訪ね体をほぐしてもらい痛み止めの薬を飲みながら仕事をしました。昼間体を動かしている時はいつもと変わりなく動けました。しかし、夜仕事終了時になると、体の節々が痛くなり特に右肩の痛みはひどくなるばかりでした。この状態が 10 日間程続きました。痛み止めの薬を飲みながら仕事を続けたということです。

9 月 2 日朝、とうとう体が動かなくなり福岡大学病院に入院、血液検査等の結果、「リウマチ性多発筋痛症」の疑いがあると断定されました。主治医によりますと、ステロイド治療を行えば 1 週間～10 日間で退院可能だと言われました。ステロイドを使うということを先に宣言され、少々戸惑いました。私の友人もステロイドを投与して一時は非常に良い状態になりましたが、半年、1 年経過すると身体の他の部分の病気まで引き起こし、今は杖がないと歩けない状態になっています。ステロイド投与のためには、全てを精密検査し副作用の要因がないか調べるとのことでした。人間ドックにも入ったことがなく、胃の検査も、大腸の検査も MR すらとった事がなかったので、ドックに入ったつもりで検査をしてもらいました。その間も熱があり、痛みはありましたが、解熱剤と痛み止めの薬で体は少しは楽でしたが、心配は膨らむばかりでした。入院 3 日目歯科検診があり、衝撃の結果が告げられました。歯周病があるため、ステロイド治療を行うと歯周病の歯を通して顎の骨に入り、顎の骨が腐ることになるので前歯を 7～8 本抜き取らなければならないということでした。私は調理師で歯を抜き取り入れ歯にすると味覚が変わり職業的に致命傷になりかねないと考えました。この事を知った妻がこの病気の事を専門的に治療する病院があるのではないかと、インターネットで調べてくれました。

ステロイドは使いませんという文字に引かれ、松本医院のサイトを開いたそうです。最初体が動かなくなり入院する際に、私が先生にヘルペスの時のような痛みが背中にあると訴えたのですが全く聞き入れてもらえず、

ずっと気になっていたのを妻は知っていました。サイトを開いて読んでいくうちに、ここしかないと思っただけです。免疫低下によるヘルペス菌との戦い理論、同じ病気の方特に松山様の手記の病状は私そのものでした。ここだと決意し、松本医院を訪れる事にしました。

大学病院ではステロイド治療をして病状が良くなって初めて「リウマチ性多発筋痛症」と確定しますと言われましたが、ステロイド治療を拒否し、大阪の松本医院を受診する旨を伝えました。了解を頂き、今までの分の資料を松本医院宛にいただきました。

9月17日 松本医院で診察と針灸治療を受けました。近くのホテルで前日宿泊し、痛い体でとぼとぼと歩いて行きました。待合室で待つ間、手記を読むように言われ、同じような病の方が沢山いらっしゃるんだと思いましたが、その日は只きつく文字を読むのも辛かったです。松本先生の最初の言葉、救われました。「死ぬ病気ではありません。ただ死ぬ程痛いらしい」と。死ぬ病気ではないということでは済みませんが、実際その通りに死ぬ程痛い日々が続く事になりました。あくる日、針灸治療を受け判明した分の血液検査の結果を聞き福岡に戻りました。

治療は、バルクスロンを1日10錠服用し、ヘルペス菌を殺す。

熱がある間は、フロモックス抗生剤を服用する。

胃腸、疲労、食欲不振、皮膚再生、など改善のための粉薬を服用する。

漢方薬を煎じ服用し、免疫力を上げる、歯周病を治す。

針灸治療を行う。

1週間のうち週末の2日間、漢方の風呂に入浴する。

9月19日

針灸治療院を探す。福岡市針灸医師会に問い合わせ、自宅近くの医院に電話し予約を入れる。おかげでとても良い先生に巡り合え、当初は月～金まで4週間毎日通院、1時間以上かけて丁寧に、私の身体を治療して頂いています。その後も、1週間に2日、その佐藤栄子先生の医院に通院しております。

9月18日～20日

熱は37.1～38.2度を行ったり来たりし、ベッドも背中から上を少し起こした状態でないと両肩が痛いのでベッドに横になることも出来ない。左手はパンパンに腫れて、右手も腫れ始める。一晩中痛み、眠れず、1時間おきにトイレに行く。寝汗もすごく3回ほど夜中に着替えるが、これが手が動かないので痛いことと言ったらこの上なし。

9月22日

松本医院に検査の結果を聞くために電話しました。間違いなく「リウマチ性多発筋痛症」の数値のようではっきりした数値は覚えておりません。只、先生の「心配せんでええよー。絶対治るさかいな。あんた自身が治すんやでー」と言われたことを肝に銘じました。

9月23日～10月20日

熱は38度を超えることはなくなり、20日頃には36度台で安定しました。日常は、手の腫れがひどくドアノブさえ開けられず、お箸も使えず、体中の痛みと力が入らないため、衣服の着脱も出来ず、入浴さえも一人ではできず、抱きかかえるようにして湯船につけてもらう始末でした。夜中も相変わらず1.5～2時間置きにトイレに起き、寝汗の着替えをしました。この時期が一番大変だったと思います。手は交互に腫れ、両肩はもちろん、腰、股関節、膝、両手首へと痛みは広がり、夜は寝返りも出来ないほどの痛みでした。毎週2回漢方風呂に入浴すると、2日後くらいに必ず何らかの反応がありました。入浴前まで痛かったところが嘘のように良くなり、又まったく何ともなかった部位が痛くなったりしました。昼夜、一人で何もできず、痛さと情けなさで精神的にも参り、半うつ状態になりました。有難いことに、友達が訪ねて励ましてくれ、動かない身体の私を温泉に連れて行ってくれたり、気を入れる事の出来る東京の友も訪ねてくれ私を元気にしてくれました。そして、2週間毎にかける松本先生に、何よりも元気を頂きました。

10月21日～11月1日

熱は平熱になり、体もずいぶん楽になってきました。じっとしていれば普通ですが、手はまだ握れず肩も上がりにくいですが、激痛でどうしようもないと言う状態からは抜け出しました。

11月2日

待ちに待った湿疹、アトピーが出てきました。これが出てくると、ヘルペスとの戦いも終わりの方に近づいていると認識しておりましたので、うれしくなりました。

11月8日

血液検査のため松本医院へ伺いました。10日後の結果は、CRPの数値は随分下がってきているがヘルペスの数値がまだまだで、このまま治療は続行でした。しかし、動けるなら動いて普通にできるだけ生活しなさいよという先生の言葉に勇気をもらいました。

11月10日～11月30日

車の運転ができました。近くでしたがとてもうれしかったです。仕事を始

める準備を少しずつしました。体は本当に動くようになりましたが今度は、アトピーとの戦いがはじまりました。まず、手にでき痒みが出始めました。胸や腹の部分にも湿疹ができ、赤くなり痒みが続きました。

12月1日～12月31日

仕事再開、店を再開することができました。年末の忙しい時期でしたが、週休2日にして、漢方風呂に入り、乗り越えました。仕事で立ちっぱなしの事が多いせいかもしれませんが両足がパンパンに腫れ足首、膝などが痛くなりました。首筋もかなり痛かったりしましたが、お客様の励ましで何とかがんばりました。

2014年1月～

正月休みが終わり、仕事再開。体は動きますが、アトピーとの戦いは最盛期を迎えます。両足のふくらはぎの腫れはパンパンで、赤くなって紫がかっています。針でつつくと水が噴き出すのではという状態が2～3か月続きました。歩行には影響はありませんでしたが毎日自分の両足を見るのは辛かったです。同時に身体全体の痒み、頭部の痒みにも悩まされました。それともう一つは切れ痔に悩まされました。排便後に、出血、痛みがあり辛い日々が続きました。これもいわゆるリバウンドの1つかなと考えますが・・・。

黄色と赤の薬を塗り続けて半年、5月現在

今は痛みもとれ苦にならなくなりました。リバウンドとの戦いが始まって、漢方風呂に入ると足や手に吹き出物ができ、化膿したり、また頭髪が抜けて脱毛の症状が出て、薄い毛髪が更に薄く、特に両耳の上の部分の脱毛がひどく、驚きと共にショックが大きく精神的に落ち込みました。本当に自分は、元の健康な身体に戻れるのか、心配な時期でありました。こういう、うっとうしいもやもやした状態を博多弁で「しろしか」と言います。本当に「しろしか」日々が半年ほど続きました。今も少々ですが「しろしか」日々が続いております。身体は仕事再開当初に比べると、ずいぶん動きます。仕事も出来ておりますし「しろしか」気分は半減しております。それも、針灸院での週2日の治療と家での毎日のお灸の賜物かなと考えます。ここまで来れたのは私自身の根気強さも然ることながら、家族や友人の励ましの言葉に支えられ治療が続けられたと思っております。特に妻には、世話をかけた分、大感謝であります。そして、何よりも松本先生の言葉を忘れてはいません。あの大阪弁で「死ぬ病気やあらへんで、あなたが自力で治すんやで。治るから心配あらへんで」と。勇気とやる気を与えていただき本当に感謝いたしております。4月の血液検査でヘルペスの数値だけがまだです。まだまだヘルペスとの戦いが続いており、今、尚治療中では

ありますが、「しろしか」日々がなくなりますようがんばって続けております。

2014年6月15日 安武修二